

## 2026年度 修士課程入学試験（秋期）

### 試験問題〔一般〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

---

問題を全て答えなさい。全受験生共通問題です。

マーク解答用紙で解答すること。それ以外で解答した場合は採点されません。

マーク解答用紙に記載された方法に従って解答すること。

---

I.

各設問の空欄（ 1 ）から（ 10 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題1】

1928年アムステルダム・オリンピック三段跳びで優勝し、日本人初のオリンピック金メダリストとなったのは、当時、早稲田大学の学生であった（ 1 ）である。

ア. 織田幹雄    イ. 坂井義則    ウ. 瀬古利彦    エ. 南部忠平

【問題2】

バレエにおいて、足の1番～5番のポジションはすべて（ 2 ）のもとに行われる。

ア. アラベスク    イ. アン・デオール    ウ. スール・レ・ポアント  
エ. ディベルティスマン

【問題3】

よい体育授業を成立させるための基礎的条件として、学習時間を十分に確保するための効果的な（ 3 ）や学習規律の確立、また肯定的な人間関係や情緒的な解放などが挙げられる。（ 3 ）や学習規律は「学習の勢い」を、また人間関係や情緒的解放は「よい授業の雰囲気」を生み出す要因となる。

ア. 演示    イ. フィードバック    ウ. マネジメント    エ. モニタリング

【問題4】

体育授業中に児童生徒が成功裡に学習に従事する時間を示す（ 4 ）は約30%といわれ、準備運動や整理運動などを除いた主運動に限定すると、わずか7%程度しかないことが明らかになっている。

ア. ALT-PE    イ. GPAI    ウ. SEM    エ. TPSR

【問題5】

「現代体育の父」と呼ばれたアメリカのヘザリントン (C. Hetherington) は、1910年に「器官の教育」「随意運動の教育」「性格教育」、そして「（ 5 ）教育」という4つの側面から体育を定義づけた。

ア. 健康    イ. 身体    ウ. 知的    エ. 道徳

【問題 6】

1960 年代のアメリカで提案された、科学の成果を教科の内容として位置づける、スポーツに関する学校教育プログラムを（ 6 ）という。

- ア. ナショナルスタンダード    イ. ヒューマン・サイエンス    ウ. プレイ教育  
エ. ムーブメント教育

【問題 7】

スポーツは、（ 7 ）によって作り上げられ、維持されている。

- ア. 一部の人の個別作業    イ. 多くの人たちの共同作業    ウ. 国家の命令    エ. 不変の伝統

【問題 8】

1845 年に（ 8 ）で、世界最初の野球クラブ（ニッカーボッカー・クラブ）が作られた。

- ア. ニューヨーク    イ. フィラデルフィア    ウ. ボストン    エ. ワシントン D.C.

【問題 9】

講道館柔道の創始者、嘉納治五郎は柔道のみならず、教育、スポーツ等、幅広い分野で活躍した。以下の 4 つの役職のうち、嘉納が就任していないのは（ 9 ）である。

- ア. IOC 委員    イ. 大日本体育協会会長    ウ. 大日本武徳会会長  
エ. 東京高等師範学校校長

【問題 10】

1891 年に YMCA 教師ジェイムズ・ネイスミスは、屋内でおこなえる体育教材として（ 10 ）を考案した。

- ア. 卓球    イ. バasketボール    ウ. バドミントン    エ. バレーボール

## II.

各設問の空欄（ 11 ）から（ 20 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

### 【問題1】

スポーツ市場は成長を続け、その規模は2021年の約13.7兆円から2024年には14兆円超に拡大していると推測されている。政府・業界は（ 11 ）までに市場規模15兆円を目指し、市場拡大戦略を推進している。特にゲームを活用した（ 12 ）国内市場の成長は著しく、2025年には（ 13 ）規模が見込まれている。

ア. 2030年	イ. 2035年	ウ. 2040年	エ. DX	オ. eスポーツ
カ. データアナリティクス	キ. メディア	ク. 2兆円	ケ. 8000億円	
コ. 200億円				

### 【問題2】

中央政府は1961年法を根拠に、2022年に第3期（ 14 ）を策定した。成人の（ 15 ）回以上運動実施率70%を目標とするが、2023年度においては（ 16 ）%程度にとどまり、財源不足や組織間連携の課題が顕在化しており、行動変容を促すようなクリエイティブな展開が求められている。

ア. スポーツ市場成長計画	イ. スポーツ基本計画	ウ. スポーツコンテンツ展開計画				
エ. 運動促進計画	オ. 月1	カ. 週2	キ. 週1	ク. 30	ケ. 50	コ. 65

### 【問題3】

スポーツビジネスはテレビ・ケーブル・衛星放送を主軸に発展してきた。20年前までは観戦形態の（ 17 ）%前後をテレビ視聴が占めていたが、（ 18 ）に消費スタイルが徐々に移行している。新しいメディアの台頭も顕著で、スポーツ（ 19 ）サービスが躍進している。SNSハイライト配信やVRライブ配信などの多様な新メディアとテクノロジーの台頭により、従来の観戦スタイルから、双方向コミュニケーションや（ 20 ）された体験へと進化している。

ア. 70	イ. 80	ウ. 90	エ. インターネット視聴	オ. ライブ観戦
カ. ギャンブル	キ. OTT	ク. スタジアム	ケ. 複雑化	コ. パーソナライズ

### Ⅲ.

各設問の空欄（ 21 ）から（ 30 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

#### 【問題 1】

身長がもっとも伸びる時期は、男子では13歳頃、女子では（ 21 ）歳頃である。

ア. 12    イ. 13    ウ. 14    エ. 15

#### 【問題 2】

骨の未成熟な発育期に強大な牽引力が働くと、骨付着部の（ 22 ）を生じうる。

ア. 単純骨折    イ. 複雑骨折    ウ. 裂離骨折    エ. 疲労骨折

#### 【問題 3】

運動によって血中でもっともよく変動する白血球はナチュラルキラー細胞であり、この変動は（ 23 ）に依存している。

ア. 運動習慣    イ. 運動頻度    ウ. 運動時間    エ. 運動強度

#### 【問題 4】

ヒトの睡眠は、レム睡眠とノンレム睡眠に分けられ、ノンレム睡眠はさらに（ 24 ）の段階に分けられている。

ア. 2つ    イ. 4つ    ウ. 6つ    エ. 8つ

#### 【問題 5】

受傷直後から競技復帰までのリコンディショニング過程は、（ 25 ）、訓練前期、訓練後期、競技復帰期の4つのステージに分類される。

ア. 治療期    イ. 回復期    ウ. 保護期    エ. 準備期

【問題 6】

オーバートレーニング症候群の症状には、疲労感、睡眠障害、うつ、( 26 ) などがある。

ア. 心不全    イ. 免疫機能低下    ウ. 熱けいれん    エ. 上気道感染

【問題 7】

日常にかかる以上のストレスや負荷を、身体の適応に応じて徐々に増加させる「( 27 )」は、トレーニングを効果的に行うための主要な原則の1つである。

ア. 漸進的負荷の原則    イ. 特異性の原則    ウ. 可逆性の原則    エ. 継続性の原則

【問題 8】

身体活動不足や食生活の欧米化などに伴って近年問題となっている( 28 )は、腹腔内臓脂肪面積とウエスト周囲径に加え、空腹時血糖、血圧、血液中の中性脂肪量などによって診断される。

ア. ロコモティブシンドローム    イ. サルコペニア    ウ. メタボリックシンドローム  
エ. 糖尿病

【問題 9】

トップアスリートが海外の国際競技大会中に罹患する疾患で最も多いのは( 29 )である。

ア. 胃腸炎    イ. 下痢    ウ. 上気道感染症    エ. エコノミークラス症候群

【問題 10】

スポーツ活動中の突然死の原因には年齢的な特徴があり、若年者の場合は( 30 )が多くみられる。

ア. 狭心症    イ. 肥大型心筋症    ウ. 心筋梗塞    エ. 頻脈

#### IV.

以下の（ 31 ）から（ 40 ）の問いに対して、正しいものには「ア」を、間違っているものには「イ」を選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

（ 31 ）． 三大栄養素の内、筋肉や骨の保持に必要な栄養素はたんぱく質で、日常生活活動に必要なエネルギーを供給する栄養素は炭水化物と脂肪である。

（ 32 ）． 骨格筋は、短縮する方向にも伸張する方向にも力（筋力）を発揮することができる。

（ 33 ）． 骨格筋の収縮を引き起こす直接的なエネルギーはアデノシン三リン酸の分解によってもたらされ、分解された物質からアデノシン三リン酸を再合成するためのエネルギーは、①非乳酸性機構によるクレアチンリン酸の分解、②乳酸性機構によるグリコーゲンの解糖、③有酸素性機構による基質の酸素による分解、の3機構によって供給される。

（ 34 ）． ヒトが全力で力を発揮した際の発揮筋力は、そのヒトの力発揮能力の生理的限界を表す。

（ 35 ）． 随意的な筋収縮によって発揮した力の大きさは、筋、腱、関節等に備わっている固有感覚受容器によってもたらされる固有感覚と筋収縮を引き起こすための神経活動から生じる”努力感”という、必ずしも一致しない2つの感覚を総合して知覚される。

（ 36 ）． 心理学には、脳の活動と心のはたらきが密接に関連していると捉え、脳科学の手法を用いた実験を通じて心の解明に挑む領域がある。

（ 37 ）． 柔道選手が背負い投げをする際の腰の回転速度や膝関節の伸展角を計測したデータはキネティックデータとして分類される。

（ 38 ）． 磁気共鳴画像法（MRI）のT<sub>2</sub>強調画像は水分の多い組織を白く描出すことから、これを用いて運動前後の画像を比較すると、その運動における筋の動員パターンを把握することができる。

（ 39 ）． スポーツ心理学における世界初の研究論文は、競争相手の存在が個人のパフォーマンスに影響を与えるという社会的促進理論の先駆けとなる研究であった。

（ 40 ）． 短縮性筋活動を行う直前の伸張は、筋の発揮張力を増大させることが知られている。このメカニズムはストレッチ・ストレングスサイクル（stretch-strength cycle）と呼ばれる。

V.

各設問の空欄（ 41 ）から（ 50 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題1】

コーチングの役割として、アスリートの（ 41 ）の希望をかなえてあげるための環境を整えることも重要な要素です。これは、アスリートの（ 42 ）間際から整えるものではなく隆盛期のアスリートに希望を投げかけなければならないでしょう。

ア. スランプ	イ. セカンドキャリア	ウ. 優勝	エ. 引退
オ. チーム	カ. 大会	キ. 夢	ク. 目標

【問題2】

一般的に、アスリートは小・中・高・大学・社会人と進むにしたがって、活動の拠点が変わることが多いです。それと同時に、（ 43 ）、トレーニング方法、強化の方向性なども異なって経過してきている可能性があります。しかも、それぞれの年代での（ 44 ）を追求したり、優れた競技成績を収める指向から、現状としてはアスリートの大きな成長の妨げになっている可能性も否めません。

ア. ルール	イ. 指導スタッフ	ウ. 道具	エ. 発育発達
オ. 勝利	カ. 人材	キ. 目標設定	ク. 予算

【問題3】

技術には一般妥当性があるとはいえ、体格や体力、（ 45 ）が異なるすべての人にひとつの技術だけをあてはめようとすることに無理がある場合もあるでしょう。そうした際には、その人に合った（ 46 ）を選択することができないか考える必要がありますが、多くの技術を知っていることでこうした問題も解決できるでしょう。

ア. 運動経験	イ. 年齢	ウ. 運動量	エ. 競技レベル
オ. 得意な技術	カ. 好きな技術	キ. 別の技術	ク. 高い技術

【問題 4】

スキル（新しい技術の習得）は、いくつかのプロセスを経て習熟していきます。例えば、最初は思うように投げられなかったボールが、練習を繰り返すうちに（試行錯誤）、徐々に思った通りに投げられるようになっていきます（動作の効率化）。握り方など正確に投げることを意識しながら練習を続けると、次第にそのポイントを意識しなくてもイメージ通りにボールを投げられるようになっていきます（( 47 )）。しかし、さらに正確で速いボールを投げるなど高いレベルの技術獲得には、さらに多くの時間と努力が必要となります。この段階では、なかなかスキル向上が実感できず、ときには新たな投げ方を試みるあまり正確な投球ができなくなるなど、既存のスキルに混乱が生じることもあります（( 48 )）。

ア. 反復性	イ. プラトー	ウ. 自動化	エ. 合目的性
オ. 個別性	カ. リバーシビリティ	キ. 意識性	ク. スランプ

【問題 5】

身体作業の持続能力のことを持久力といい、( 49 ) と全身持久力に大別されます。一般にいうマラソン選手のスタミナなどは有酸素的な全身持久力をさしています。全身持久力のトレーニングは ( 50 )、自転車、水泳などで行うことができます。

ア. 懸垂	イ. スプリントダッシュ	ウ. スタミナ	エ. ランニング
オ. 筋持久力	カ. ウェイトトレーニング	キ. 心肺持久	ク. 筋力